

☆☆☆ 第37回政策研究セミナーのご案内 ☆☆☆

過疎集落の現状と再生に向けて

今、人口減少についてその対応策が議論され、過疎化、少子高齢化など厳しい局面の中、地域がそれぞれに打開策を模索しているところです。

今回は、「限界集落の真実—過疎の村は消えるのか?」の著者である山下祐介さんをお迎えし、ご講演いただきます。過疎集落の現地調査を踏まえ、その現状と再生について考えてみましょう。

- 日 時：平成26年12月13日(土) 13:30~16:30
- 会 場：愛媛県男女共同参画センター 研修室(松山市山越町450番地)
- 主 催：公益財団法人えひめ地域政策研究センター
- 定 員：100名(申し込み先着順)
- 参 加 費：無料
- 申 込 先：公益財団法人 えひめ地域政策研究センター 担当 鈴木
電 話 089-926-2200 電子メール info@ecpr.or.jp
FAX 089-926-2205
- 申 込 締 切：平成26年12月1日(月)
- そ の 他：ご来場にはできる限り公共交通機関をご利用ください。

第1部：講演 「過疎集落の現状と再生に向けて」 <13:30~15:00>

- 講 師：山下 祐介(やました ゆうすけ)氏(首都大学東京准教授)



1969年生まれ。九州大学大学院文学研究科社会学専攻博士課程中退。弘前大学准教授を経て、現在、首都大学東京准教授。専攻は地域社会学、環境社会学。

著書に「限界集落の真実—過疎の村は消えるのか?」(ちくま新書)、「東北発の震災論—周辺から広域システムを考える」(ちくま新書)、「人間なき復興—原発避難と国民の「不理解」をめぐって」(共著、明石書店)、「津軽、近代化のダイナミズム」(編著、御茶の水書房)、「白神学」(編著、ブナの里白神公社)、「災害都市の研究—島原市と普賢岳」(共著、九州大学出版会)など

第2部：対談 「愛媛の過疎集落現状と再生を考える」 <15:15~16:20>

山下祐介 氏×笠松浩樹 氏(愛媛大学農学部助教)

政策研究セミナー「過疎集落の現状と再生に向けて」 参加申込書

FAX 089-926-2205

団体名・社名			
所在地・住所			
所属・御役職	御 名 前		
T E L	F A X		
電子メール			

セミナー後講師との交流会を開催 大黒屋本町店
(17:30~ 会費4,000円)

交 流 会 に

参加する ・ 参加しない

※お申込みに関わる個人情報は、セミナーに関する業務や今後のイベントの案内にのみ利用いたします。